

自己評価からみる今年度の傾向（令和3年度）

- ① 分掌・体制 ～ 協働できる体制ではあるが、内容を更に明確にして、職員間で共通理解を図りながら、見直していきたい。
- ② 運営 ～ 全職員が話し合える場、時間の確保の工夫が必要である。
- ③ クラス運営 ～ ティームティーチング・連携の仕方の工夫。
縦、横のつながりや連携を図っていく。
- ④ 保育・日時程 ～ 2号、3号認定の子どもが増えていることも踏まえ、保育の流れの工夫が必要である。また、年齢毎の見直しも必要である。
- ⑤ 保健・安全指導 ～ アレルギー対応が必要な子どもがいるので、今後も対応を明確にし職員で共通理解を図っていく。
避難訓練は回を重ねると慣れも生じてくるので、内容を検討していく。
- ⑥ 研修関係 ～ 東北大会（10月）研究を深めることができた。
園内研修は、様々なテーマの研修、課題の解決など考えていきたい。
コロナ禍ではあるが、外部研修を受ける機会があり、学びになった。
研修報告など資料には、学ぶことがたくさん書いてあるので、全職員が目を通しやすい場所の設置を考える。
- ⑦ 行事について～ コロナ対策で難しいこともあるが、実施方法や参加方法に引き続き、工夫が必要である。毎年の行事だからではなく、全職員で見直しを考えていきたい。
平日の行事については、働いている保護者が多くなってきているので、行事内容の見直し、必要性を考え直す必要がある。
- ⑧ 情報について～ ホームページの更新は課題である。保護者のニーズや時代に合わせたものを考えていきたい。
守秘義務や情報の取り扱いを慎重に配慮していくことも指導しているので、引き続き周知していく。
- ⑨ 施設・設備 ～ 不審者侵入の対応訓練は必要である。
- ⑩ 幼小連携 ～ 幼小間での連携などとてもよい関係となっていると感じる。小学校の協力もあり、おおむねできていたと感じる。
- ⑪ 家庭・地域との連携 ～ 梵天奉納など行っているが、今後、園の情報を発信していく必要がある。
- ⑫ 子育て支援の推進 ～ 子育て支援について、今後講習会や、保護者同士のコミュニケーションを深められるよう、時代に合わせた内容を考えていきたい。